常磐毎日

発行所
平市田町75
常磐毎日新聞社
電話1210番

靴　靴
紳　士
婦　人
スポーツ用品
装
平　TEL77

# 十年振りに確認された 平市 石井さんの戦病死

現地応召の兵士が引揚げ準備中に激務の疲労がもとで満州の長春市でコレラを患って戦病死を遂げたが、さにまぎれて原隊からの戦病死手続きが忘れられてしまったため、引揚援護協会の名簿からもれて、単なる死亡の取扱いをうけ戸籍上も「単なる死亡」として消されていたため遺家族たちも「遺族の資格なし」とあきらめていたものが、当時の戦友からの便りで立派な戦病死であったことが判明、戦友の温い「死亡確認証」が証拠となって戦後十年たってとが確認されて、遺族年金受給の対象となった人が平市におり、全国でも珍らしいケースとして話題を呼んでいる。……

## 遺族達も大喜び
### 陰に戦友の愛の便り

この遺族は平市七軒町市営住宅に住む石井酉松さん宝さで次男の時雄君（当時二十二才）は磐中卒後渡満、現地召集となつたが、間もなく終戦となり、引揚準備中に軍務の過労がもとで去る昭和二十一年七月二十七日に満州長春市でコレラに患り戦病死した。

ところが当時引揚げのごたごたで係の者が手続きを忘れてしまつたため戦病死として取扱われず、単なる死亡として戸籍が消され十年間放任されていた。石井さんたちもあきらめていたところ当時の戦友であつた兵庫県の山田佐平さんからの便りで戦病死の適格者であることが判り山田さんから「戦病死である」という確認書を送付して貰い、これを添付して遺族年金請求書を県当局に提出したところ、願が叶つて去る八日大竹知事名で戦病死であることが証明され、十年ぶりで遺族年金受給者として取扱われる事になつたものである。

### 石井さんの話

「私達は死亡月日が戦後でもあり遺族としての資格はないものとあきらめていたが、戦友からの推めで申請書を提出したところ係の温い調査の結果このようになつたもので戦後十年を経た今日このような事になるとは思つていませんでした」と喜びを語つている。

## 第一成田丸 無事帰港

十九日午後十時三十分ころ四倉町漁業協同組合（地区）に四倉港所属同町仲町佐藤朝吉さん所有サンマ船＝第一成田丸（五七トン）＝より四倉沖東二十マイル附近で操業中機械に故障を起し標流中との無電連絡があつたがその後何んの連絡もなく消息を断ち遅難したのではないかと心配されていたが附近で操業していた同町新町吉田勝十郎さん所有やよひ丸に救助され二十日午前十時半ころ無事に帰港した。

## 石城に多い平手酒造
## 九カ月に六億圓也
### 筆頭は二級酒、次ぐは焼酎の順

寒い冬の夜ながを一献酌交して過す季節を迎えて平税務署や同署管内酒類組合などではお酒の売り込みは今のうちと「密造はやめて地元の酒を」の標語を掲げ宣伝に大童だが、このほど同署で調べた酒の売行きは上々で東北一にのしあがろうとしており石城地方人の酒豪振りがうかがわれる（酒）（お）

今年正月から九月末日までの九カ月間に石城地方人の腹に収つたお酒は昨年同期の一万六千八百石を一割以上も上廻る一万八千五百十五石と酒税法が殴けられてから最高で、東北では盛岡地方に次ぐのみ振りを見せており、酒豪さんに収めた額は政府に入る酒税二億三千万円もふくめてなんと六億二千五百万円に上つている。これによると男女二十才以上の石城地方人一人（二十才以上の人口は約二十三万名）平均の酒量は八升、月に一升平均近くが呑まれているわけで、市内街頭や農道などにフラフラした平手造酒の多いのもむべなるかなである。

酒類別に見るとブルジョア階級のお酒特級は僅に十四石、一級も少

## 保母さんが自殺
### 湯本

◆六等＝下一ケタ七

### 常磐に赤痢

常磐市上川十七桧木綾子ちゃん（三つ）は十九日午後赤痢で隔離された

## 天気予報

（今晩）東よりの風やゝ強く雨時々晴
（明日）北のち西の風が強く曇りで時々晴
（海上）今晩明日とも時化るので漁船は注意を要す

幼稚園の保母さんが病気欠勤を苦に首吊り自殺して幼い園児達を悲しませている。

十九日午後二時半ころ常磐市湯本字傾城四十無職志賀洪基さん（三）の長女、同市浅貝幼稚園の保母照代さん（二九）が自宅六畳間で首を吊り死んでいるのを学校から帰つた弟（二）が見つけ、東区世話所から常磐署に届け出た同署で検視にあたつたが照代さんは去る九月中旬ごろじん臓と肺線カタルを併発して欠勤していたもので、「身体が弱くなつてしまつて保育所であつかる子供の世話も出来ない」と常々悩んでいたとも云われている。

## 石城に多い平手酒造
## 九カ月に六億圓也
### 筆頭は二級酒、次ぐは焼酎の順

（酒）（お）

寒い冬の夜ながを一献酌交して過す季節を迎えて平税務署や同署管内酒類組合などではお酒の売り込みは今のうちと「密造はやめて地元の酒を」の標語を掲げ宣伝に大童だが、このほど同署で調べた酒の売行きは上々で東北一にのしあがろうとしており石城地方人の酒豪振りがうかがわれる

今年正月から九月末日までの九カ月間に石城地方人の腹に収つたお酒は昨年同期の一万六千八百石を一割以上も上廻る一万八千五百十五石と酒税法が殴けられてから最高で、東北では盛岡地方に次ぐのみ振りを見せており、酒豪さんに収めた額は政府に入る酒税二億三千万円もふくめてなんと六億二千五百万円に上つている。これによると男女二十才以上の石城地方人一人（二十才以上の人口は約二十三万名）平均の酒量は八升、月に一升平均近くが呑まれているわけで、市内街頭や農道などにフラフラした平手造酒の多いのもむべなるかなである。

酒類別に見るとブルジョア階級のお酒特級は僅に十四石、一級も少

## 遺族達も大喜び
### 陰に戦友の愛の便り

この遺族は平市七軒町市営住宅に住む石井酉松さん宝さで次男の時雄君（当時二十二才）は磐中卒後渡満、現地召集となつたが、間もなく終戦となり、引揚準備中に軍務の過労がもとで去る昭和二十一年七月二十七日に満州長春市でコレラに患り戦病死した。

ところが当時引揚げのごたごたで係の者が手続きを忘れてしまつたため戦病死として取扱われず、単なる死亡として戸籍が消され十年間放任されていた。石井さんたちもあきらめていたところ当時の戦友であつた兵庫県の山田佐平さんからの便りで戦病死の適格者であることが判り山田さんから「戦病死である」という確認書を送付して貰い、これを添付して遺族年金請求書を県当局に提出したところ、願が叶つて去る八日大竹知事名で戦病死であることが証明され、十年ぶりで遺族年金受給者として取扱われる事になつたものである。

### 石井さんの話

「私達は死亡月日が戦後でもあり遺族としての資格はないものとあきらめていたが、戦友からの推めで申請書を提出したところ係の温い調査の結果このようになつたもので戦後十年を経た今日このような事になるとは思つていませんでした」と喜びを語つている。

## 第一成田丸 無事帰港

十九日午後十時三十分ころ四倉町漁業協同組合（地区）に四倉港所属同町仲町佐藤朝吉さん所有サンマ船＝第一成田丸（五七トン）＝より四倉沖東二十マイル附近で操業中機械に故障を起し標流中との無電連絡があつたがその後何んの連絡もなく消息を断ち遅難したのではないかと心配されていたが附近で操業していた同町新町吉田勝十郎さん所有やよひ丸に救助され二十日午前十時半ころ無事に帰港した。

## 保母さんが自殺
### 湯本

◆六等＝下一ケタ七

### 常磐に赤痢

常磐市上川十七桧木綾子ちゃん（三つ）は十九日午後赤痢で隔離された

## 天気予報

（今晩）東よりの風やゝ強く雨時々晴
（明日）北のち西の風が強く曇りで時々晴
（海上）今晩明日とも時化るので漁船は注意を要す

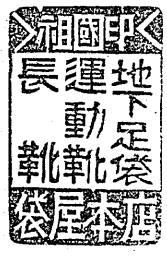
幼稚園の保母さんが病気欠勤を苦に首吊り自殺して幼い園児達を悲しませている。

十九日午後二時半ころ常磐市湯本字傾城四十無職志賀洪基さん（三）の長女、同市浅貝幼稚園の保母照代さん（二九）が自宅六畳間で首を吊り死んでいるのを学校から帰つた弟（二）が見つけ、東区世話所から常磐署に届け出た同署で検視にあたつたが照代さんは去る九月中旬ごろじん臓と肺線カタルを併発して欠勤していたもので、「身体が弱くなつてしまつて保育所であつかる子供の世話も出来ない」と常々悩んでいたとも云われている。

## 宮小校の児童会
### 内郷署表彰方を具申

内郷署では、近づく交通安全旬間を機に内郷市宮小学校の児童会の表彰方を県交通安全協会に具申した。

宮小学校児童会は現会長六年生大和田功君を中心にして四年生以上で組織しているもので、去る四月の新学年度から自主的に交通整理班をもうけ、毎日午前七時十五分、午後一時十五分他一回戸部炭礦引つ込み線を通る列車の危険を防ぐため、町田、竹之内の踏切りを含めた五カ所を整理の対象に男女四人が一班となり生徒の交通安全を図つて来たものである。




## 理美容師試験

三十年度第二回理美容師試験は十四、十五の両日平高等理容学院で行う、試験は十四日学科、十五日は実地で学科は公衆衛生大意、物理及び化学大意など実地は理容または美容の基礎的技術などで試験申込受付は今月二十四日まで平、植田両保健所で行つている。

中心の漁業地域で三千石、平市の商農都市などは僅に二千石、その他農村地帯となつている。

バーやカフエーなどに使われるブランデー、ビール、ウイスキー、ブドウ酒等洋酒もよくのまれ三千九百五十二石となつている、また月別に見ると秋祭りなど祝祭日の多い八月が最も多く二千三百六十石、次いで正月酒が飲まれる一月で二千二百八十三石、最も少ないのが農漁村の猫の手も借りたい季節である九月の千六百六十六石でさらに地方別に見ると常磐、内郷を中心とした炭礦地帯で五割を占る九千石次いで磐城地方を

菓子 銘菓 凡平

父 阿部兼千代 儀永らく病気療養中のところ薬石効なく十八日永眠致しました
茲に生前の御厚誼を深謝し謹んで御通知申上げます
追つて葬送の儀は十月二十二日午後二時自宅出棺弘源寺に埋葬致します
昭和三十年十月二十日
平市五色町四八番地
喪主 阿部陽太郎
母 阿部テルヨ
外親戚一同

福島相互銀行の第二十六回割増金は「福々定期預金抽せん会」は二十日午前九時から平市ひかり座で行い次の番号が当選した。
◆特賞＝二本一・一六五五（八組、十八組）◆一等＝二本特賞同番号の九組、十九組◆二等＝特賞と同番号の時、一等以外の組◆三等＝一・七八九五、一・六一三四◆四等＝下三ケタ二四〇、一〇一◆五等＝下二桁八七

## 保母さんが自殺
### 湯本

◆六等＝下一ケタ七

### 常磐に赤痢

常磐市上川十七桧木綾子ちゃん（三つ）は十九日午後赤痢で隔離された

## 天気予報

（今晩）東よりの風やゝ強く雨時々晴
（明日）北のち西の風が強く曇りで時々晴
（海上）今晩明日とも時化るので漁船は注意を要す

幼稚園の保母さんが病気欠勤を苦に首吊り自殺して幼い園児達を悲しませている。

十九日午後二時半ころ常磐市湯本字傾城四十無職志賀洪基さん（三）の長女、同市浅貝幼稚園の保母照代さん（二九）が自宅六畳間で首を吊り死んでいるのを学校から帰つた弟（二）が見つけ、東区世話所から常磐署に届け出た同署で検視にあたつたが照代さんは去る九月中旬ごろじん臓と肺線カタルを併発して欠勤していたもので、「身体が弱くなつてしまつて保育所であつかる子供の世話も出来ない」と常々悩んでいたとも云われている。

## 特賞は一、一六五五
### 福島相互の定期預金

福島相互銀行の第二十六回割増金は「福々定期預金抽せん会」は二十日午前九時から平市ひかり座で行い次の番号が当選した。
◆特賞＝二本一・一六五五（八組、十八組）◆一等＝二本特賞同番号の九組、十九組◆二等＝特賞と同番号の時、一等以外の組◆三等＝一・七八九五、一・六一三四◆四等＝下三ケタ二四〇、一〇一◆五等＝下二桁八七

## 宮小校の児童会
### 内郷署表彰方を具申

内郷署では、近づく交通安全旬間を機に内郷市宮小学校の児童会の表彰方を県交通安全協会に具申した。

宮小学校児童会は現会長六年生大和田功君を中心にして四年生以上で組織しているもので、去る四月の新学年度から自主的に交通整理班をもうけ、毎日午前七時十五分、午後一時十五分他一回戸部炭礦引つ込み線を通る列車の危険を防ぐため、町田、竹之内の踏切りを含めた五カ所を整理の対象に男女四人が一班となり生徒の交通安全を図つて来たものである。




## 理美容師試験

三十年度第二回理美容師試験は十四、十五の両日平高等理容学院で行う、試験は十四日学科、十五日は実地で学科は公衆衛生大意、物理及び化学大意など実地は理容または美容の基礎的技術などで試験申込受付は今月二十四日まで平、植田両保健所で行つている。

中心の漁業地域で三千石、平市の商農都市などは僅に二千石、その他農村地帯となつている。

バーやカフエーなどに使われるブランデー、ビール、ウイスキー、ブドウ酒等洋酒もよくのまれ三千九百五十二石となつている、また月別に見ると秋祭りなど祝祭日の多い八月が最も多く二千三百六十石、次いで正月酒が飲まれる一月で二千二百八十三石、最も少ないのが農漁村の猫の手も借りたい季節である九月の千六百六十六石でさらに地方別に見ると常磐、内郷を中心とした炭礦地帯で五割を占る九千石次いで磐城地方を

菓子 銘菓 凡平

父 阿部兼千代 儀永らく病気療養中のところ薬石効なく十八日永眠致しました
茲に生前の御厚誼を深謝し謹んで御通知申上げます
追つて葬送の儀は十月二十二日午後二時自宅出棺弘源寺に埋葬致します
昭和三十年十月二十日
平市五色町四八番地
喪主 阿部陽太郎
母 阿部テルヨ
外親戚一同

福島相互銀行の第二十六回割増金は「福々定期預金抽せん会」は二十日午前九時から平市ひかり座で行い次の番号が当選した。
◆特賞＝二本一・一六五五（八組、十八組）◆一等＝二本特賞同番号の九組、十九組◆二等＝特賞と同番号の時、一等以外の組◆三等＝一・七八九五、一・六一三四◆四等＝下三ケタ二四〇、一〇一◆五等＝下二桁八七

ヨルの部
◇口　上　◇お夏狂乱◇
◇津山の月　◇鏡獅子◇
◇浮世絵灯籠◇

ヒルの部
◇口　上　◇戻り橋◇
◇廓の奴　◇落　人◇
◇浮世絵灯籠◇

# 第三回 平とり

場所 平市公會堂
期日 10月23日 ヒル11時 ヨル4時

主催 平芸能組合
後援 平市・平商工会議所

美登利
平市新田町 電三二一番

栄金
平市新田町 電二六二番

志の婦
平市仲町 電二八〇番

水金
平市新田町 電四四二番

喜代川
平市新田町 電一〇五四番

富小
平市南町 電二〇二番

# 長唄 鏡獅子

## 〝平をどり〟稽古場より

長唄「鏡獅子」は立方が「お小姓弼生、後に獅子の精」に舞美子、「胡蝶の精」にれい子、間着扱のベテランどころ、唄は杵屋十茂代、小南、勘吉、小龍、駒千代、花香、鈴代、さと子の皆さん、三味線は杵屋和敏郎、杵屋十久江、清美、おちゃら、深雪、さよ子、小次郎、金弼さんたち、鳴物は笛が望月長一郎小鼓が望月左三郎、メ子、望月吉三雄、大鼓が望月左吉、太鼓が望月彦太郎の皆さんという豪華版である。

### 踊り解説

正月十一日にお鏡開きの式が催された、お鏡開きの式には奥座敷に将軍秘蔵の獅子頭を白木の台にのせて飾り、御燈明やお供物を供え、その前で伎のすぐれたお小姓が舞を奉納する習わしであった。

「徳川幕府時代、千代田城の大奥では、毎年こんどの舞には「弼生」が選ばれ、弼生は郷くばかりの処女で美しさも踊りも人に優れているので定めし見ものであらうと噂されてた、二八の乙女心の恥かしさに最初におくしていたが遂に観念して正面に直ると漸かに舞い始める。

〝されば結ぶのその神や、天の浮橋渡り初め女神男神の二神…〟と弼生はゆつたりと舞い踊る〝人の心の花の露、ぬれにぞぬれしぴん水や…〟と優雅な音頭調にのつて踊り、それから転じて、〝春は花見に心うかれて…〟と軽やかな、そしてなまめいた振りとなり、更に〝時しも今やほ舟の花の、咲くや乱れて散りくるわ…〟と次第に踊りは佳境に入り、弼生は我を忘れて踊り狂う、いよいよ御神前の手獅子を手にとつてなおも舞い踊るとき、何処からともなく二匹の蝶がとんで来て、獅子にからんで舞狂うかとみれば、不思議にも名作の獅子には魂が添つて独りでに活き活きと動きだす、驚いてこれを圧えようとする弼生を次第次第に力を加えて、遂に弼生を引きずつて行つてしまう。

あとには胡蝶の精が現われて牡丹の花に戯れ舞い遊ぶ。そして今度は全く獅子の精と変じた弼生は勢も猛々しく現われ出でて蝶と狂い或は牡丹に狂い白頭の毛を縦横に振り最後にしゝの座に直る」という踊りの筋であるが、「寿美子」の定評ある踊りは期待出来るといわれている。

（続）

銘菓 平ぴん餅 松月堂

# 三氏に感謝状

## 交通安全協会平支部

県交通安全協会平支部役員会は十八日午後一時から平署会議室で開き、二十一日から始まる交通安全旬間中の諸行事交通事故防止診断映画会などについて協議した後丹生巻太郎（赤井支部）、青木徳むろ（夏井分会）、早川祐次（大浦分会）の三氏に対して感謝状を贈つた。旬間中の主な行事は次の通り。

▽平地区事故防止対策委員会と署員が四班に別れて交通事故防止診断を二十六日から四日間実施する▽平、四倉、小川、好間の各一カ所に臨時交通安全相談所を設置市民の要望などに応ずる▽交通宣伝映画「野球見物」「アメリカの運転手」「トレラー二〇一号」「消えた子牛」などを巡廻上映する▽三十一日平署で交通功労者、優良運転手学童作品の表彰式を行う▽交通事故現場写真の展示▽交通一せい取締を行う。

# 開所以来の記録

## 平職安九月の失保給付

東北一の失業者を抱える平職安所管内の九月分失業保険金支払は開所以来最高となり依然炭礦の不景気を物語つている……。

同所が支払つた九月分の失業保険金は昨年同月の千三百五十五万円（実人員二、一八七名）を四割も上廻る千九百四十五万円（実人員二、五五〇名）に達しており保険金収入源である保険料の倍になつている。また県下失業保険金全支払額の五割である。これは一時帰休制度による常磐炭礦の三カ月間失業者の九百五名が受けたためと中小炭礦の企業整備などによる炭礦失業者が依然多いためとなつている。また受給実人員に比べて支払保険金額が多いのは昨年より給与が多くなつているためである。

一方九月中の失業保険金受給請求者を見ると中小炭礦関係が五十二名と最も多く、次いで炭礦の不景気に左右される土建関係四十名、鉄鉱関係十一名、其の他二十名と炭礦の不景気を裏付けている。

# 洋画初の審査員

## 平出身の鈴木新夫画伯

平市北目町生れ洋画家鈴木新夫さん（四）はこのほど洋画新制作展協会の会員に推薦され、審査に当る事になつた、洋画審査員としては県下で初めての人で、同氏は磐中第卅二回卒後、東京美術学校出身こんどの第十九回新制作展に「赤い鉄骨」と「昼寝」を出品入選、これで連続十七回入選したため今まで協友だつたのがこんどの入選で会員に推せんされたもの。

昭和二十二年には「安井」「梅原」「猪熊」など一流画伯と共にベストテンに入つた偉才であり将来が嘱望されている。

# 常磐署でマツチ作る

常磐署の交通係で、交通事故防止マツチ二千個をつくつた、これは街頭車輌検査の際、運転手と助手に渡し交通の安全を図ろうというのがねらいで、表には「注意一秒けが一生」の標語、片面には小学校から募集して入賞となつた標語三つがのせられてある。

▽一位、せまい道路もきまりで広く、勝本一小赤沼泰子、▽二位、一歩出る前右左、同三小渡田チヨ子、▽三位、横断はちよつと止つて右左、同一小舟田明枝。

# 大谷石 井上 電話66

# 耳目

▽入質品が盗難にあつた場合は一体どうなるんだろうと常磐署に相談を持ちかけたお力ミさんがある▽同署で事情をきいたところ同市八仙の某さん宅からA質店に自転車を入質、あるものがなくなつたので家では相当困つたが、なにしろ早く金をつくつて受け出そうと一生懸命働き、さて金が出来たのでうけ出しに訪れたところ「盗まれてない」との返事で二べもなく追い帰されたという次第、此のお力ミさんにすれば僅かな金を貸しておいて盗まれたことにして他所に転売でもしたのではないかと疑つたものらしい、▽早速A質店の話きくと盗まれたことは事実で、蔵に自転車をしまう際表に置いたちよつとの間にやられてしまつたそうだ、盗難届けも出されているが、盗まれた自転車がでて来ない限り、お力ミさんのA質店に対する疑いは中々解けそうもない。

# 今晩のラジオ

## NHK（第一）

6、00 シンブンマルコポーロの冒険
6、25 オテナの塔
6、45 四局通信
7、15 録音ニュース
7、30 浪花演芸会
8、00 歌の花ごよみ
8、30 由起子
9、05 ニュース解説
9、15 のんきタクシー
10、15 邦楽名曲選
10、40 浪曲の聞き方 味い方

## ラジオ福島

6、05 空の向うに 何がある
6、15 スイート コンサート
6、25 リボンの騎士
6、40 父を訪ねて一万キロ
7、10 歌う ダイハツ三輪車
7、30 日東紡アワー
8、00 バンビタンアワー
8、30 浪曲玉手箱
9、00 平凡アワー
9、30 特別番組バラエテイショー
10、05 名作アルバム
10、25 夜の希望音楽会
11、05 浪曲名調アルバム

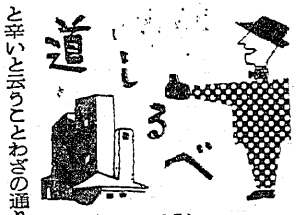
# 自慢はヤマコの綿

## 同じ品なら絶対安い店

「縁はいなもの味なもの」十年振りにカムバツクした五丁目「佐川呉服店」の旦那さんは平には初顔だが、昭和十八年戦時中の企業整備で廃業するまでは叔父さんが今の七十七銀行のところに店を開いていたと云うから血統は古い方だ。

○…この店の強味は親子、兄弟イトコ、ハトコと親族一党で固めていること、白河本店を総大将格に県内に七店を有し、仙台に本店、支店が進出、五本の指が互に助けあつて「同じ品なら今でお県内外から注文が殺到していると云う

○…サンショウは小粒でピリリと辛いと云うことわざの通り、店は小柄でも農漁村には根強い固定客を持つているが更に糸の一把でも注文あれば早速お届けするというサービス振りが買われて市内の客も多く将来益々有望の折紙つき、店の旦那さんは「奉仕第一主義でどんなものでも電話一本でお伺い致しますから御気軽に御利用下さい」…と書いているが佐川のモットーは「奉仕」がすべてだと云う。




……（10）……

# 今晩の映画

●平　館　夜の部　六時三〇分　花ひらく　女大学（二十五日まで）（電四六六）
●ひかり座　夜の部　六時三九分　黒い骰子　サンタフエへの道（廿四まで）（電二三二八）
●聚楽館　夜の部　六時三〇分　興徳寺官　太鼓の響き（二十五日まで）（電四七〇）
●世界館　夜の部　六時三一分　くちづけ　新平家物語（二十五日まで）（電五八）
●民　劇　夜の部　六時二〇分　セールスマンの死　邪魔者は殺せ（廿四日まで）（電二三二二）
●東映劇場　夜の部　七時〇〇分　弓張月　一部　織田信長（二十五日まで）（電六五）
●四倉町海盛座　夜の部　七時　銀座の女　旗本やくざ（二十三日まで）（電二四二）

開店お知らせ

看板の御用命は……
是非当店へ……

サービス本意
看板塗装（一般）
図案 ポスター
サービス本意

トンボ看板店
三室金秋
四倉町本町（小学校前）電337

求む 男女店員 履歴書持参 本人面談
安全…衛生…経済的な 電気暖房器
一流メーカー各種豊富
古山電氣
平二 TEL972

タルサ
ナイトショウ
こう奮と迫力の大スペクタクルドラマ
21（金）22（土）23（日）
平館
主演 スーザン・ヘイワード ロバート・プレストン ペトロ・アーメンダリス